入選作品

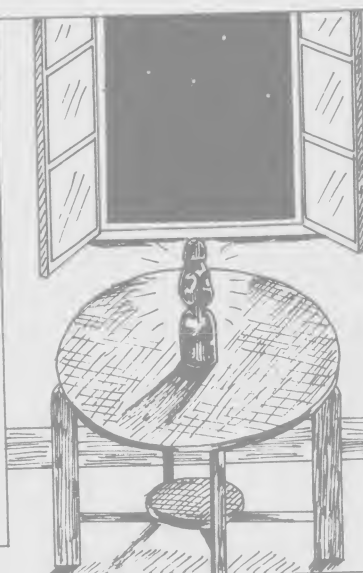
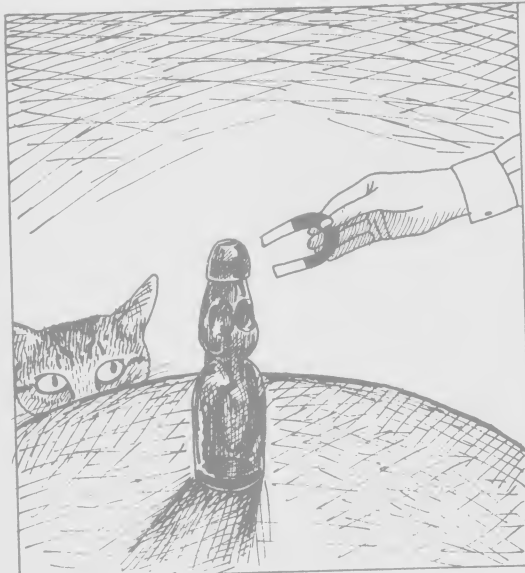
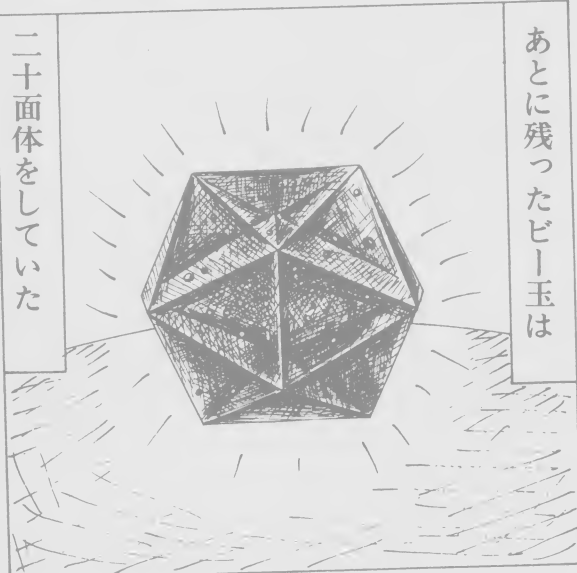
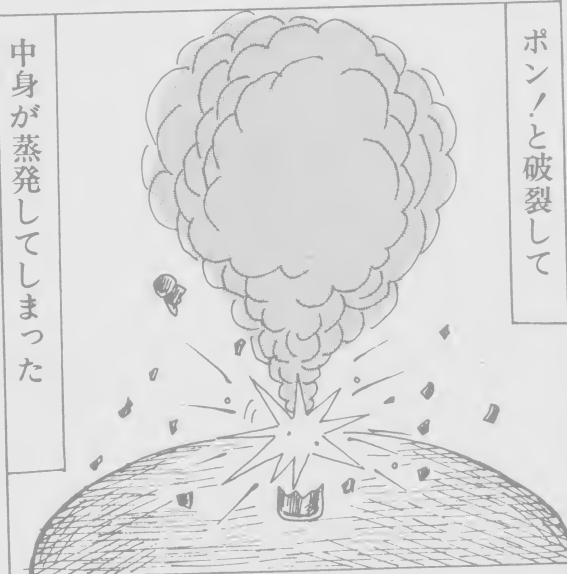
クシー君の発明

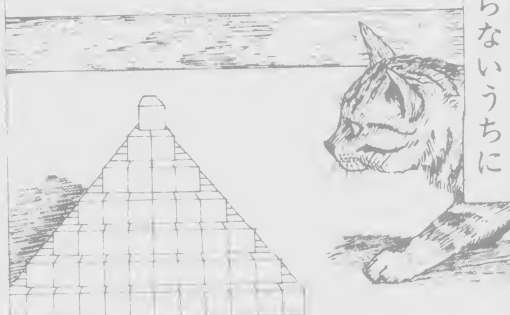
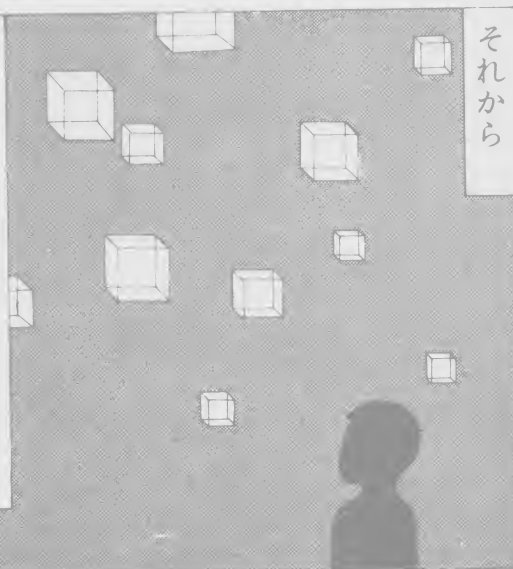
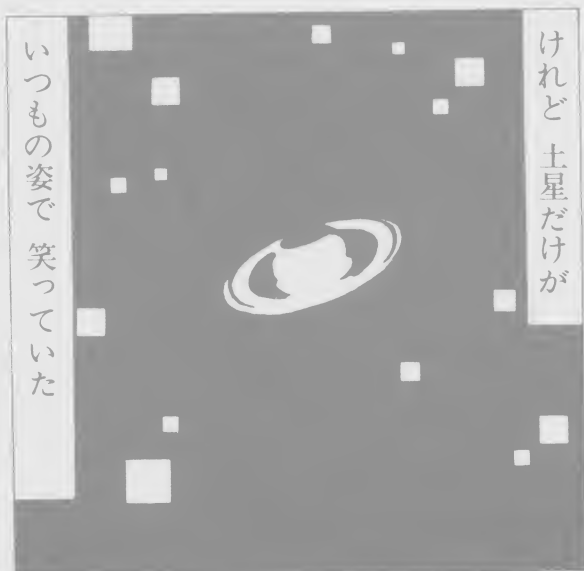
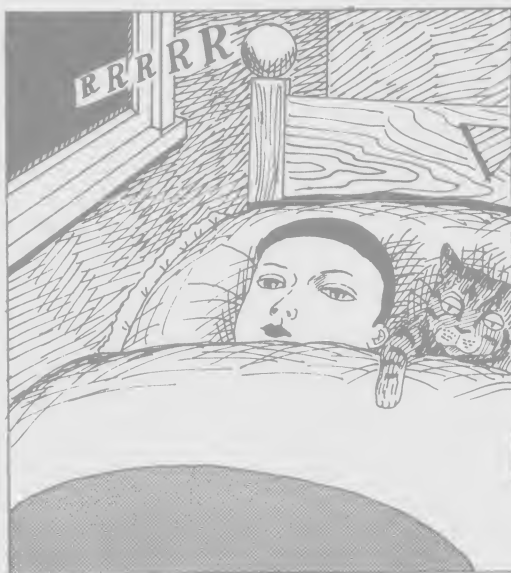
E・Nに

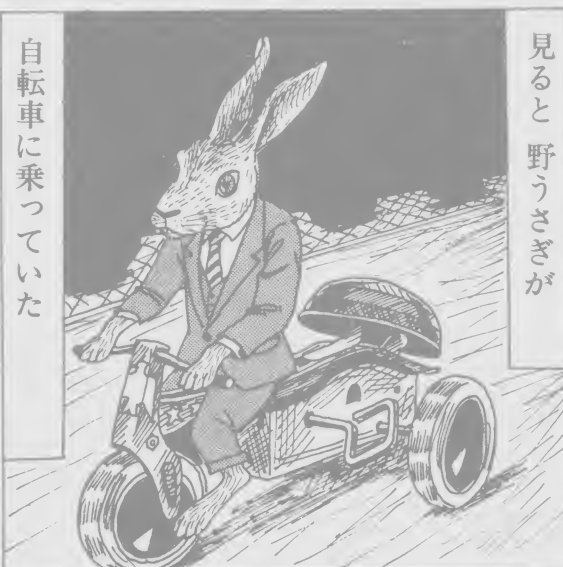
鴨沢祐仁

隕　石

星のラムネ

星のこぼれそうな夜
テーブルにラムネが届いていた
怪しいので磁石を近づけたら
ポン！と破裂して
中身が蒸発してしまった
あとに残ったビー玉は
二十面体をしていた

A PRESENT FROM A CRESCENT

CUBELET SUGAR

月の休暇

新月の晩
クシー君が眠りかけたら

窓の外でベルが聴こえた
RRRRR

見ると　野うさぎが
自転車に乗っていた

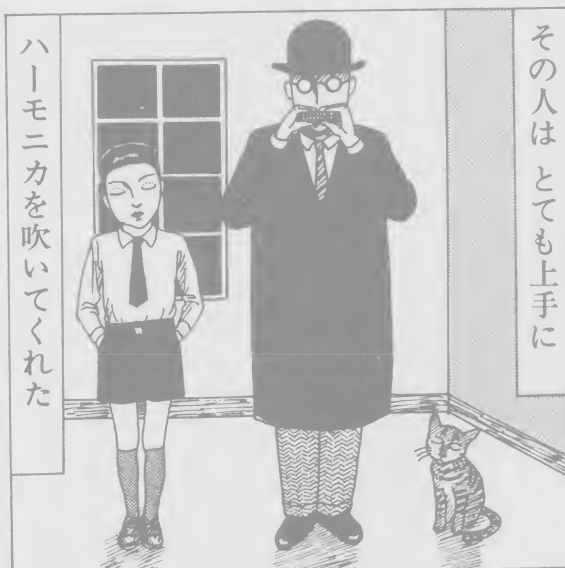
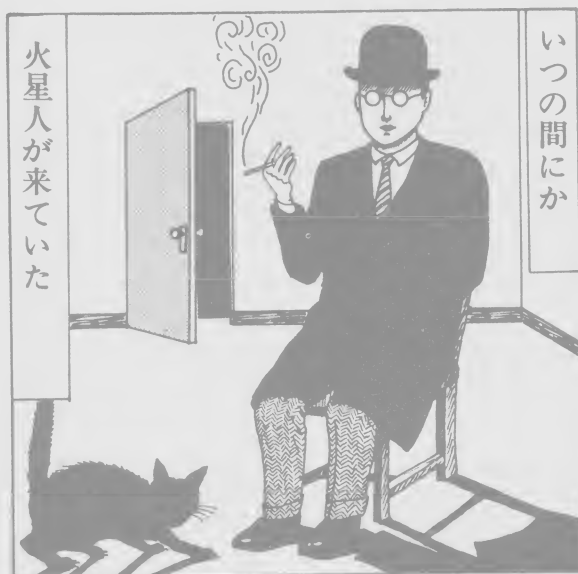
クシー君も乗せてもらった

訪問者

夜おそく
理科のドリルをしていたら

いつの間にか
火星人が来ていた

その人は とても上手に
ハーモニカを吹いてくれた

その人がどうして火星人なのか
クシー君にも分っていない

停電

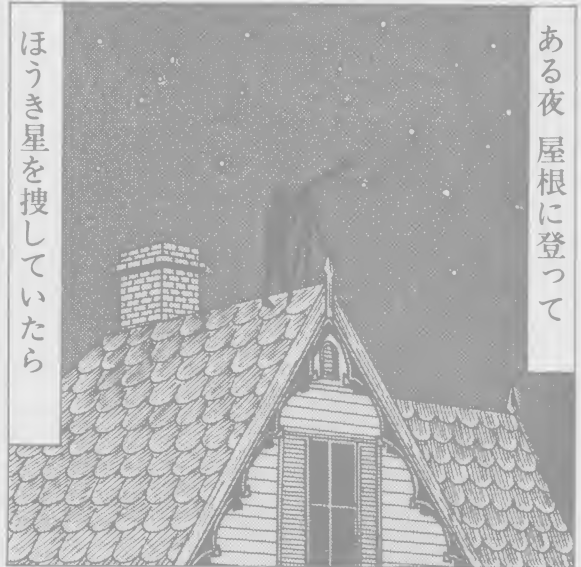
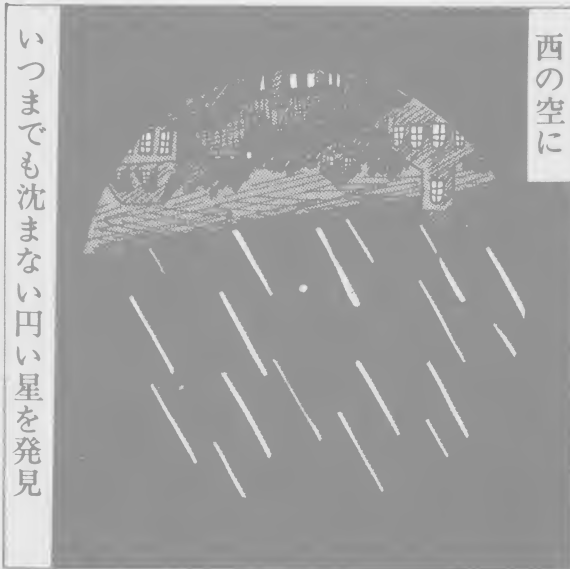
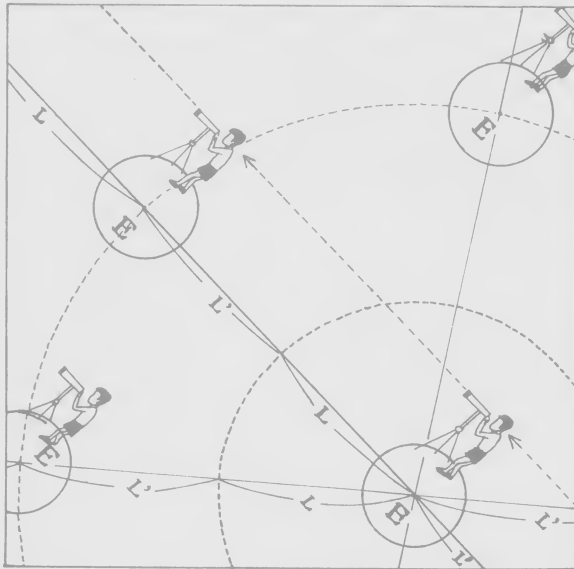
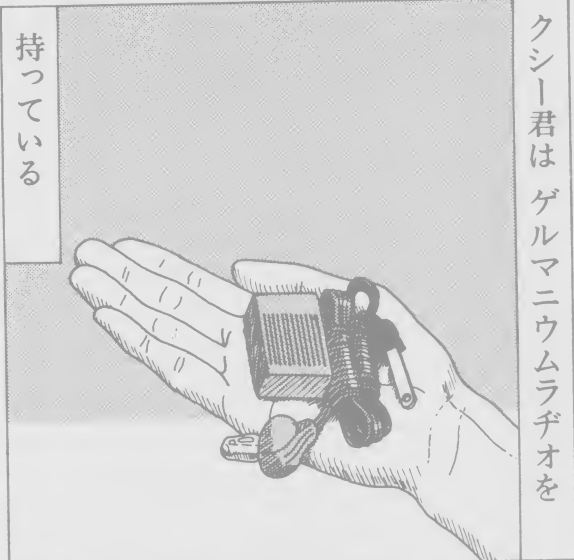
真っ暗な晩 クシー君が
炭酸水を飲もうとしたら

急に停電！

闇の中で 炭酸水のコップが
ポーッと光ったり消えたりしていた

どうやらそれは 東の空に
昇り始めた ケフェウス型
変光星と関係があったらしい

謎の天体

ある夜 屋根に登って
ほうき星を捜していたら
西の空に
いつまでも沈まない円い星を発見
なんだろうと考えてるうちに
夜が明けてしまった
L
L'
E

クシー君の発明

（ガロ1975年４月号掲載）

THE END. 1974 12月25日 Yuji Kamosawa